



今年は、徳川家康の没後400年目にあたり、東京・静岡・岡崎など、家康ゆかりの地においてさまざまな関連行事が行われています。

蒲郡市も徳川家とは縁の深い土地柄です。戦国時代、市内には徳川家の分家である竹谷松平家・形原松平家・五井松平家の本拠地がありました。いずれも家康の天下統一過程において、多くの功績があった家々です。

図書館の北東に曹洞宗の寺院「龍台山天桂院」があります。天正9年(1581年)、当時13歳だった家康の妹「おきんの方」が竹谷松平家の家清のもとに嫁いできました。この女性の法名(死後のおくり名)が天桂院であり、お寺の名称の由来となっています。

天正18年(1590年)、豊臣秀吉の命によって、家康は住み慣れた東

家康の妹君 天桂院さま

海の家から関東地方へ国替えとなりました。竹谷松平家も家康につき従って故郷竹谷の地を離れ、武蔵国八幡山(現在の埼玉県本庄市)へ引越すこととなりました。

この時おきんの方のおなかには赤ちゃんがおり、本来なら安静が必要な時でしたが、一族は命を受けて長い旅路につきました。そして、小田原(神奈川県)に差しかけた時に大きな悲劇が起こります。昔のお産は女性にとって命がけの出来事であったといえます。おきんの方は、小田原の地で女兒を出産すると、自身は命を失ってしまったのでした。

妻を亡くした家清が、おきんの方の冥福のために建てたお寺が天桂院です。天桂院境内には松平家の墓所がありますが、そこにはおきんの方のお墓も代々の当主に並んで建っています。静寂な空気に包まれた墓所を訪れると、郷土の先人が歩んだ数々の歴史がしのべられます。



天桂院境内の松平家墓所。右から3番目がおきんの方のお墓。博物館で企画展を開催します。(お知らせ16ページ)



8月の誕生石は「宇宙の宝石」

夏です。遠征しなくても、望遠鏡が無くても、だれもが楽しめる天体ショー「ペルセウス座流星群」の季節です。例年7月末から流れ星の数がはじけ、8月12日から13日にかけてピークを迎えます。夜空をすうっと流れる流星は、ほうき星のおきみやげ。彗星がまき散らしていった星くずです。といてもほとんど成層圏で燃え尽きてしまうので、その正体はよくわかっていません。ただ観測から、半分くらいは小さな砂粒のようなものと考えられています。中にはもしかすると宝石―8月の誕生石「ペリドット」が混ざっているかもしれません。若緑色の美しいペ

★青い地球は宇宙の宝石

by たんぽぽ回



リドットは、小惑星探査機はやぶさが持ち帰った小惑星のかけらにも入っていた「宇宙の宝石」なのです。遠い宇宙からやってきた小さな宝石が放つ、一瞬のきらめき。ぜひ今年も見上げてみてください。ね。

